

# おおもり



平成30年11月7日

東根市立大森小学校  
学校だより77号

## あいさつは、「人と人の心をつなぐ」大切な行動です！

見守り隊の方から「朝や夕方のあいさつが、少し元気ないようですが・・・。」というご感想をいただきました。正直、残念な気持ちになりました・・・。

そこで、10月の校長講話で、「あいさつ」について次のような話をしました。

あいさつは、「人と人の心をつなぐ」大切な行動です。あいさつには「ありがとうございます」といった「感謝の思い」も含まれているからです。

見守り隊の方々は、皆さんの安全を守るために、ボランティアで頑張ってくれている人たちです。

「皆さん一人一人、自分の心に問いかけてください。」

地域の人に、先生方に、お友達に「自分から」あいさつしていますか？ あいさつを通して、感謝の思いを伝えることができますか？

「できているよ」という人は、これからもしっかりあいさつを続けていきましょう。「できていなかった」と思った人は、今日から意識してあいさつをするように努力してみましよう。

(大森小学校の子どもである皆さん)

- ・ あいさつを大きな声でできる人になってください。
- ・ たとえ、大きな声であいさつができなくても、軽い会釈をして、思いを伝えることのできる人になってください。
- ・ 人に、感謝の思いを伝えることのできる人になってください。

そんな、あいさつが飛び交い『元気 なかよし 自分から』の大森小学校をみんなの力で創っていってくれることを期待しています。

【その後、職員による役割演技をして、子どもたちとあいさつの仕方について確認しました。】

(以後、省略)

こんな講話をした数日後、学校に「あいさつが素晴らしくなって驚いた」という連絡が数件届けられました。とてもうれしく思いました。

子どもたちは日々変化し、成長もしています。私たち教職員は、そんな子どもたちの小さな変化を見逃さず、成長を認め・励ましながら「つながりを学ぶ大森小」の姿に近づいていけるよう、しっかりと子どもたちと向き合いながら共に進んでいきたいと思ひます。

まだまだ「目指す姿」に成長していくまでには、しばらく時間もかかるかと思いますが、保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、子どもたち一人ひとりの「こころの育ち」を支援していきたいと思ひますので、どうかよろしくお願ひいたします。

(校長 土屋 常 義)



職員による役割演技



真剣な表情で話を聞く子どもたち